

1. 事業別助成金総括表

(単位：千円)

助成事業名	2019年度		2020年度			
	(実績)		(予算)	(実績)		(前年度比)
(1)プロ・ナトゥーラ・ファンド助成						
国内研究助成	11件	10,470		11件	10,640	170
国内活動助成	5件	3,460		5件	4,590	1,130
〃 (地域NPO)	3件	2,830		3件	2,360	△ 470
海外助成	2件	2,800		0件		△ 2,800
特定テーマ(第31期)	3件	1,480		3件	4,677	3,197
特定テーマ(第30期)	3件	3,000		3件	1,480	△ 1,520
小計	27件	24,040	23,000	25件	23,747	△ 293
(2)ナショナル・トラスト活動助成	3件	4,800	4,000	1件	3,500	△ 1,300
(3)緊急助成	1件	274	1,000	1件	997	723
(4)協力型助成						
国際NGO助成	0件	0		1件	471	471
学協会助成	2件	1,935		2件	2,898	964
国際的プログラム助成	2件	1,563		1件	563	△ 1,000
小計	4件	3,498	3,000	4件	3,932	435
計	35件	32,612	31,000	31件	32,176	△ 436

(5)プロジェクト取消分				(1件)	△ 1,000	△ 1,000
再計	35件	32,612	31,000	31件	31,176	△ 1,436

## 2.助成金交付一覧

(1)2020年度 第30期プロ・ナトゥーラ・ファンド助成先一覧

(単位: 千円)

## 【国内研究助成】

No.	テーマ	申請団体	代表者	助成額
1	草原性蝶類アサマシジミ北海道亜種の効果的な生息地管理と遺伝的多様性に関する研究 (2年)	アサマシジミ北海道亜種保全チーム	木下 豪太	1,000
2	対馬におけるニホンジカの個体数急増が絶滅危惧種ツシマヤマネコの生息環境に与える影響 (2年)	ツシマヤマネコ保全生態研究グループ	中西 希	1,000
3	国内希少種ミヤコカナヘビにおいてなにが個体群の成長を妨げているのか? 生息密度勾配の把握と集団構造解析によるアプローチ (2年)	ミヤコカナヘビ研究グループ	安里 瞳	1,000
4	絶滅危惧Ⅱ類・亜種リュウキュウオオコノハズクの沖縄島と西表島における生息状況と基礎生態の解明 (1年)	島嶼鳥学研究会	高木 昌興	1,000
5	シカ捕獲用くりり罠による錯誤捕獲がカモシカに与える中長期的影響 (1年)	浅間山カモシカ研究会	南 正人	870
6	両生類の国際取引と日本のペット市場 (1年)	TRAFFIC (トラフィック)	北出 智美	1,000
7	風力発電建設計画地に繁殖するカンムリウミスズメの海域利用の解明 (1年)	神子元島カンムリウミスズメ調査グループ	森 貴久	1,000
8	濁水問題の原因究明と生態影響評価を目的とした富士川—駿河湾複合生態系の緊急学術調査 (2年)	富士川保全生態学術研究グループ	岩田 智也	1,000
9	海洋島大東諸島の固有種とそれを支えるピロウ林の現状と保全に関する研究—その後の経緯と新しい外来種の影響 (1年)	大東諸島生物相研究グループ	伊澤 雅子	970
10	四半世紀にわたる有明海奥部海域の採泥調査の継続と市民参加型調査手法の開発 (2年)	有明海保全生態学研究グループ	森下 浩史	800
11	奄美大島に生息する希少両生類のロードキルの実態 (1年)	奄美大島ロードキル研究会	浅利 裕伸	1,000
国内研究助成計			11件	10,640

## 【国内活動助成】

No.	テーマ	申請団体	代表者	助成額
1	奄美琉球の生物多様性保全をめざしたペットの適正飼養と管理に関する普及啓発および政策提言	島嶼生物多様性保全ネットワーク	山田 文雄	1,000
2	風力発電と鳥類の累積的影響評価および自立分散型地域エネルギーと生物多様性保全の推進に関するシンポジウムの開催	公益財団法人日本野鳥の会	浦 達也	1,000
3	天然記念物エラブオオコウモリの保全・啓発活動—生息地(口永良部島とトカラ列島) 島民による持続的協働体制の構築と実施—	エラブオオコウモリ保全・啓発活動プロジェクトチーム	山口 英昌	990
4	名護市東海岸のサンゴ礁域の持つ価値を活かした地域作りへの取り組み	公益財団法人 日本自然保護協会	安部 真理子	800
5	館山の海の森「藻場」の再生を目的としたウニ類の駆除とモニタリング調査	一般社団法人モバイラッコ隊	三谷優衣子	800
国内活動助成計			5件	4,590

【国内活動助成(地域NPO活動枠)】

No.	テーマ	申請団体	代表者	助成額
1	環境省絶滅危惧ⅠB類コヒョウモンモドキの生息地復元を通じた豊かな山地草原環境の再生	特定非営利活動法人 富士山自然保護センター	古屋 一哉	990
2	ラムサール条約湿地「中池見湿地」ウシガエル入れない！入れさせない！プロジェクト	中池見ねっと	上野山 雅子	1,000
3	豊かな生態系を持つ小規模エコトーンを作る技術の実用化	認定 NPO 法人 びわこ豊穰の郷	金崎 いよ子	370
国内活動助成(地域NPO活動枠)計			3件	2,360

【特定テーマ助成】

No.	テーマ	申請団体	代表者	助成額
1	世界自然遺産知床半島の観光客増加によるヒグマの人馴れに関する研究	知床ヒグマ研究グループ	下鶴 倫人	2,000
2	積極的な観光客誘致が進む鳥取砂丘の昆虫多様性モニタリング法の確立と実践	鳥取砂丘多様性保全グループ	唐沢 重考	1,677
3	増加するナイトツアーがアマミノクロウサギの行動に与える影響とその対策の検証	アマミノクロウサギ研究会	鈴木 真理子	1,000
特定テーマ助成計			3件	4,677

【30期特定テーマ助成】

No.	テーマ	申請団体	代表者	助成額
1	北海道鳥類データベースを活用した鳥類保全への取り組み促進事業	EnVision環境保全事務所	長谷川 理	500
2	オホーツク海海岸植生のエゾシカによる食害被害状況の把握と保全対策	オホーツクの海岸植生を守る会	丸山立一	500
3	夕張岳登山道の重複木道の整理&植生復活事業	ユウパニコザクラの会	菊地宏治	480
30期特定テーマ助成計			3件	1,480

(2)2020年度 第16期ナショナル・トラスト活動助成先一覧

No.	テーマ	申請団体	代表者	助成額
1	絶滅危惧種オオタカ・ミゾゴイ及びモミの群生林等を守るための熊井の森トラスト事業	はとやま環境フォーラム	愛場謙嗣	3,500
ナショナル・トラスト助成計			1件	3,500

(3)2020年度 緊急助成先一覧

No.	テーマ	申請団体	代表者	助成額
1	日本で最も絶滅に近い鳥オガサワラカワラヒワの絶滅回避のための保全プロジェクト	一般社団法人Islands care	川口大朗	997
緊急助成助成計			1件	997

## (4)2020年度 第5期協力型助成先一覧

## 【第5期国際NGO助成】

No.	テーマ	申請団体	代表者	助成額
1	フィリピン・ルソン島での野生生息地を守る森林コーヒー栽培	特定非営利活動法人バードリサーチ	神山和夫	471
第5期国際NGO助成計			1件	471

## 【第5期学協会助成】

No.	テーマ	申請団体	代表者	助成額
1	地域との協働による阿蘇の草原植物の活用と地域活性化	日本緑化工業会 生態・環境緑化研究部会	神山和夫	2,000
第5期学協会助成計			1件	2,000

## 【第4期学協会助成】

No.	テーマ	申請団体	代表者	助成額
1	最絶滅危惧チョウ類の保全と農林業・地域住民との共存共栄をめざして	日本鱗翅学会 自然保護委員会	矢後勝也	898
第4期学協会助成計			1件	898

## 【第4期国際的プログラム助成】

No.	テーマ	申請団体	代表者	助成額
1	白神山地ブナ林の100年モニタリング	世界遺産白神山地ブナ林モニタリング調査会	中静透	563
第4期国際的プログラム助成計			1件	563

## 【第30期PNF助成分プロジェクト中止にて返金分】

No.	テーマ	申請団体	代表者	助成額
1	ロガー情報と音響情報を用いたオガサワラオオコウモリの生態調査手法の開発	島コウモリ調査グループ	橋爪雅人	△1,000
プロジェクト中止分計			△1件	△1,000

助成合計			31件	31,176
------	--	--	-----	--------